

さむさと回座

今までの血を氣に三とけな

三日家 不問言に入、石女 血をけろ

う言言す、ととかく問言は入、の在中

昨日 何女分大おかい

けつろ石う百言す

いしゆん 寒いかうびと鬼、ん

さむいと堂環をとり結い 二丁風三之處

さむさ水取らる、石女に 氣結かわるい

いそいで堂環を下げたう すうまうしん

さむさと有れたて 堂環の青いうに

石女去果するのかわい

回座 百言すれ ころたす有 血を下げた

け下がろろろろろろろ

昨夜ゆる時

一定の堂環を解つ、うにしんいとエア、すい

の浸透強層を少しひくおれす、堂環が下った

浸透を少しおれす

朝に今、て 浸透が下った、ろとーびとろろ

浸透とろつろろろろろろろ

今朝 四時を過ぎた

百田十 にはアアア

とわつた

魚をいじりたり

ごきんとうじ

自らの影の桐子を工場の

頭を少しは 練わなれはなり

今年の予びしい寒さは 新をつくこと

なり

2022  
12/9

十日の朝 百三十五と

最中